

C-10 市販の各種長じゅばん地について

中村学園短大 O横田春子 才田真喜代 板垣茂代 中村倫子

目的 最近、合成繊維のシルキー化が進み、絹特有の持味とされている優美な光沢、風合い等も類似したものが、数多く市販されている。今回は消費者として購入や取扱いの目安を得るために、長じゅばん地が着用や湿式洗たく及び乾式洗たく等によって、その性能がどのように変化するか物理的観点から検討を加えた。

方法 市販の長じゅばん地 絹・ポリエステル・ナイロン・アクリル・アセテート混紡・毛の計11種を選らび、収縮率、帯電性、剛軟性、防しわ性、風合い、手ざわり等が洗たくの方法や洗たくの回数によってどのように変化するか実験を行なった。収縮率はJISの織物収縮率試験法に準じ、帯電性はロータリースタチックテスターで、剛軟性はフーアイナーターで、防しわ性は針金法でそれぞれ測定した。

結果 収縮率はナイロン、ポリエステル、アクリルは湿式洗たく、乾式洗たく共に変化はなく、毛、アセテート混紡は湿式洗たくで1~4.5%の収縮があった。絹は湿式洗たくで6%、乾式洗たくで1%の収縮があった。帯電性は湿式洗たくでナイロン、アクリル、ポリエステルの摩擦帯電圧が増加し、その減衰時間が非常に遅くなっている。乾式洗たくでは布地に附着されていた仕上げ剤が洗たくにより除去されなかったためか、又は洗たくにより新たに何か附着したためか摩擦帯電圧の増加は少なく一定の傾向が見られない。防しわ性、風合いは共に洗たくによりそこなわれて行く。以上の結果により、私共は長じゅばん地を着用目的に応じて外出用、平常用と正別して購入し、適切な取扱い方をすることが大切であることが分かった。